

KSK

発行 KSK 神奈川県障害者定期刊行物協会  
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3F 横浜市車椅子の会内

# あゆみ会報

編集 湘南あゆみ会  
〒254-0807 平塚市代官町21-4 SEA平塚ビル3F フレンズ湘南内  
TEL/FAX 0463-24-0420  
定価 50円（会員は年会費に含まれています）

2024年7月号 第203号

## 報告

### ●映画上映会開催 「ふるさとをください」

6月23日（日）映画「ふるさとをください」の上映会を平塚市美術館ミュージアムホールで行ないました。この日は前日のお天気と打って変わり夜中から激しい雨。人々の出足が心配されましたが、幸い朝9時頃には雨脚が弱まり、第1回目の上映時刻頃には殆どあがり、次々と来場者が続き、用意した90の座席は殆ど埋まり、慌てて椅子を補充する程でした。

この映画は、共同作業所連絡会が30周年記念として10数年前に制作し、全国で1000カ所を超えて上映され、平塚でも一度上映した事がある映画ですが、精神疾患を患う人が増え続けている今、精神疾患について少しでも理解を深めてもらえる機会になれば、と上映しました。

平塚市広報、タウンニュースに掲載し、各地区の公民館や関係団体、行政機関など様々な所にお知らせしたところ、予想以上の計138名の入場者があり、アンケートには「多くの人に観てもらいたい」などの感想もあり、手応えを強く感じた上映会となりました。

#### 〈アンケート集計結果〉

##### 1. 上映会を知った方法

A あゆみ会報 13      B 平塚市広報 9      C タウンニュース 21      D チラシ 24  
E 知人・家族 31      F その他 7

##### 2. 年齢

A10代 0      B20代 1      C30代 2      D40代 6      E50代 13      F60代 14  
G70代 53      H80代 15      I90代 1

##### 3. 住まいの市町

A 平塚市 86      B 大磯町 3      C 二宮町 6      D その他（茅ヶ崎 秦野 大和 相模原など）9

##### 4. 感想

A 大変良かった 72      B 良かった 19      C 普通 2      D 良くなかった 1

#### 〈主な感想 一部記載〉

- ・自分自身も偏見を持っていた事を反省。
- ・素晴らしい映画で感動しました。大変勉強になりました。
- ・クリニックの先生の話が分かりやすく為になった。
- ・障害者への偏見のない世の中になって欲しい。考えさせられることばかりで胸にグッと来た。
- ・メッセージ性のあるとても感動的な映画でした。排除するのではなく、知ろうとすること、共存する

- ことを皆で考える事が大切だと改めて感じました。医療・福祉関係者にもっと観て欲しい映画です。
- ・反対派の人たちが麦の郷の人たちとふれあって変わっていく姿が素晴らしかった。心が明るくなった。
  - ・精神障がい者への理解を深めるのはまだまだ大変と思うが一步一步進めていきたいと思った。
  - ・優しい人は生きにくい社会です。一所懸命生きる姿はかっこういいです。
  - ・こんな映画があることを知る事ができて良かった。
  - ・「あなた方のふるさとを少しだけ分けてください」にしみれました。
  - ・精神障がい者が人ごとでないと。居場所がないことに気づけた。
  - ・理解を深めるには沢山の困難を超えねばならない。この映画で理解者の一人になれました。
  - ・それぞれの立場で意見は異なり、難しい問題だと思う。家族が土下座してお願いした、というシーンがあったが、そんなことを絶対にさせてはいけない。涙が止まりませんでした。
  - ・「普通の苦勞がしたい」。本当に重くて尊い言葉だと思いました。
  - ・統合失調症の理解に繋がる映画で、共存することの大切さ、人としての生き方を教えてください。中・高生に是非見せたい。学校への働きかけをすべきです。
  - ・精神障がいは社会が作り出した部分もあります。日本ももっと障がい者が理解されるといいと思います。
  - ・平塚市を変えていきたいと強く思いました。理解する努力を続けることの大切さを伝えていきたい。
  - ・今は作業所があるのはあたりまえですが、当時は大変だったんだと思いました。地域の人の中に入って一緒に過ごす事は今でもなかなかないのが現実。なんとかしたいですね。
  - ・精神障がい者に対する偏見はまだまだ根強いと思う。行政の支援をもっと強めることが必要と思う。
  - ・障がい者、健常者の違いは社会のひずみから出る。一般の見識を覆し、同じ人として一緒に住める平和で幸せな社会を一緒に作って行きましょう。
  - ・障害のある人もない人も、誰にとっても住むところは「ふるさと」。分かり合い、支え合い、寄り添って生きて行ける「ふるさと」づくり人になりたい。

#### 5. 湘南あゆみ会に対する質問、要望など。

- ・この活動の輪が繋がって行き、全国で精神障がい者に対する理解が進んでいくことを願っています。
- ・社会復帰といっても当事者にとってはいくつも大きな障壁を乗り越えなければならない。これからも寄り添いながらのご支援・ご活躍を祈念します。
- ・勉強したい人にも窓口を開いて下さい。地域の力になると思います。
- ・大勢の参加者に驚きました。あゆみ会の活動はとても素晴らしいと思います。行政機関もどんどんサポートしてもらいたいと思いました。

#### 〈映画上映会を終わって〉

予想を超える多くの方々が観に来て下さり、皆様のこの映画に寄せる期待を強く感じました。終了後もすぐ席を立つのではなくアンケートに答えて下さり、多くの方の胸にこの映画の“願い”が届いたことを確信できました。2回目の上映後には一人の方がマイクを握り「平塚で以前に上映したとき、和歌山の麦の郷まで見学に行きました」と体験を話してくださる一場面もあり、感動しました。家族会に対する期待の言葉も多くいただき、これからの活動の大きな励みになりました。希望を持って一步一步進めていきたいと思っています。有り難うございました。

## ●SST勉強会

6月7日(金) 13:00~16:30 ひらつか市民活動センター A会議室

講師 高森信子先生 参加者21名 (初めての方3名)

誰から最もストレスを受けるか、を当事者に聞くと家族からと言う人が多い。家族の役割は話しを聞き、安心感を与えること。聞くときには“共感”が大事。引き上げるのではなく、寄り添うこと。子どもが変わりやすいように、親が先に変わるサービスをする。

### 当事者が家族にして欲しいこと

- ① もっと私の気持ちを解って欲しい
- ② あれこれ指図することをやめて欲しい。
- ③ 私を傷つける言動をやめて欲しい。

### 当事者と話しをするとき大事な点

①視線を合わせる ②当事者の言葉を反復・確認する 確実に聞いた証拠になり同じ言葉を使うことで状況変化が起こらない 当事者は状況変化を好まない。

例 当事者の娘さんがやっのご飯を炊くことができ「ご飯ができたよー」と言った。その時、弟が「30にして遅いんだよ」と返したら、娘さんは包丁をテーブルに突き刺した。こういう時は「ご飯が炊けたね」と同じ言葉を繰り返す。

③質問をする 相手に質問すると話しが長くなるので、通常はしない傾向になりがちだがカウンセリングでは良く使う手法。ただし、話しを聞くのは疲れることなので時間を区切るなどするとよい。

お困り事の相談 金銭的なトラブルの時は法テラスに相談してみると良い。ただ、相手が合法的だと難しい場合もある。発達障害系の人には注意、否定は禁物。

赤ちゃんが泣いた時すぐ来てくれる母親だと自分に自信のある子になる。すぐ来てくれない母親だと社会不信を持つ子になる。この病気は脳が疲れやすいので疲れさせないようにする。

最後に河合隼雄著「Q&A こころの子育て 誕生から思春期までの48章」のプリントの配布がありました。その中の一節を紹介します。

『Q48 どうして家族と一緒に暮らすことが大事なのでしょう。

家族は受け容れがたいことを受け容れる「家庭禅」の道場なんです。』

## ●サロンあゆみ 自由交流

6月21日(金) 13:00~15:30 ひらつか市民活動センターA会議室 参加者12名

この日はペガサス平塚センターから鈴木様の出席と、平塚市社会福祉協議会からCSW(コミュニティーソーシャルワーカー)内田様の出席があり、お二人に対して沢山の質問が出され、充実した交流会となりました。

鈴木様のお話:ペガサス平塚センターは6年前に設立 主に精神障がい者の就労移行支援を行なっています。パソコンによる在宅支援も始めました。現在18人(定員20人)が通所し、平塚市役所の“ゆめの種”にも就労しています。就労した場合、安定するまで雇用主との調整支援も行ないます。

内田様のお話:令和4年から平塚市社会福祉協議会の地域福祉推進課に所属して制度の狭間の支援を行なっています。どんな相談でも受けつけます。

## これからの予定のお知らせ

**8月6日（火）じんかれん研修会 講演「親亡き後へ想いをつなぐ 家族の未来準備マップ」** 今からできる準備についてお話をうかがいます

講師 障害のある子のライフプランサポート協会 代表理事 佐藤加根子氏

10:00～12:00 かながわ県民センター304 会議室（横浜西口 徒歩5分）

\*申し込み不要 直接会場へお越しください 〈無料〉

**8月29日（木）平塚市との懇談会 13:30～ ひらつか市民活動センター A会議室**

平塚市障がい福祉課から課長ほか4人が出席してくださいます。新しく設立した「基幹相談センター」について、「精神にも対応の地域包括ケアシステム」について等、また平塚市への要望、質問など、この機会にしっかりと話し合い、平塚市の対応を聞きましょう。久しぶりの懇談会です。大勢の方の参加をお願いします。

**9月16日（月・祝）9月定例会 講演会「愛着障害の理解と支援」**

講師 尾崎 裕彦 氏（きりんカームクリニック院長） 〈チラシ参照〉

10:00～12:00 ひらつか市民活動センターA・B 会議室

様々な精神的なトラブルの背景に愛着障害の問題が潜んでいる事が解ってきました。愛着障害を理解することにより、当事者の生きづらさ・葛藤を理解し、寄り添うことができれば、と企画しました。どなたでも参加できます。皆様の参加をお待ちします。

## 精神保健ボランティアグループ **こんぺいとうのお知らせ**

7月27日 土曜日 11:00～14:30 サロン 福祉会館和室・調理室 参加費 300円

「上機嫌でやろう（楽しくやろう）」

「上機嫌でいよう（穏やかでいよう）」

「上機嫌でやれないことはしない（無理をしない）」

…「グリーンホームふたば」の合言葉 こころの友より

## サロンあゆみの予定

8月16日（金）13:00～15:30 自由交流

9月20日（金）13:00～16:00 心理勉強会

いずれもひらつか市民活動センター会議室

